

わすれ物と友だち

4年 物語文 8番

名前

図工の時間、たけしは、かばんの中を見て、はっとした。絵の具をわすれてきたのだ。今日は、みんなで秋の風けいをかく日だった。たけしの顔から、さっと血の気が引いた。早くかき始めたいのに、たけしだけ、絵をかき始められない。まわりの友だちが絵の具をならべる音が、いつもより大きく聞こえた。

こまって下を向いていると、となりの席のりくが、そっと声をかけてくれた。「たけし、どうしたの。」「絵の具、わすれちゃって……。」小さな声で答えると、りくは、にっこり笑って言った。「それなら、ぼくのを一しよに使うよ。」

たけしは、思わず顔を上げた。りくのやさしい言葉が、まるであたたかい光のように、たけしの心を、ぱっと明るくした。「ありがとう。」二人は、一つの絵の具を、代わりばんこに使った。りくが赤をぬれば、たけしは青をぬる。ふしぎと、いつもより楽しくかけた。

それから何日かたった、ある朝のこと。たけしは、教科書をわすれてこまっている子を見つけた。たけしは、あの日のりくのことを思い出した。そして、自分から声をかけた。「よかったら、ぼくを見せてあげるよ。」こまった時に助け合うあたたかが、たけしから、また次の友だちへと、そっとつながっていった。

(1) たけしは、図工の時間に何をわすれてこまっていたか。文しよから書きぬきましよう。

(2) 「顔から、さっと血の気が引いた」とありますが、このときのたけしは、どんな気持ちでしたか。書きましよう。

(3) 「まるであたたかい光のように」とは、りくのどんな言葉のことを表していますか。書きましよう。

(4) 何日かたったあと、たけしがしたこととして、正しいものを一つえらびましよう。

ア わすれ物をした子を見て見ぬふりをした
イ わすれ物をした子に、自分から声をかけて助けた
ウ りくに、絵の具を返してもらった
エ 先生に、りくのことを話した

(5) この物語を読んで、あなたが考えたことを書きましよう。

例えば

「やさしくしてもらうと、こんどは自分もだれかにやさしくしたくなと思った。」

「こまった時に助け合うことの、あたたかが分かった。」

わすれ物と友だち

解答

4年 物語文 8番

名前

図工の時間、たけしは、かばんの中を見て、はっとした。絵の具をわすれてきたのだ。今日は、みんなで秋の風けいをかく日だった。たけしの顔から、さっと血の気が引いた。早くかき始めたのに、たけしだけ、絵をかき始められない。まわりの友だちが絵の具をならべる音が、いつもより大きく聞こえた。

こまって下を向いていると、となりの席のりくが、そっと声をかけてくれた。「たけし、どうしたの。」「絵の具、わすれちゃって……。」小さな声で答えると、りくは、にっこり笑って言った。「それなら、ぼくのを一しよに使うよ。」

たけしは、思わず顔を上げた。りくのやさしい言葉が、まるであたたかい光のように、たけしの心を、ぱっと明るくした。「ありがとう。」二人は、一つの絵の具を、代わりばんこに使った。りくが赤をぬれば、たけしは青をぬる。ふしぎと、いつもより楽しくかけた。

それから何日かたった、ある朝のこと。たけしは、教科書をわすれてこまっている子を見つけた。たけしは、あの日のりくのことを思い出した。そして、自分から声をかけた。「よかったら、ぼくを見せてあげるよ。」こまった時に助け合うあたたかが、たけしから、また次の友だちへと、そっとつながっていった。

(1) たけしは、図工の時間に何をわすれてこまっていたか。文しよから書きぬきましょう。

絵の具

(2) 「顔から、さっと血の気が引いた」とありますが、このときのたけしは、どんな気持ちでしたか。書きましょう。

(例) わすれ物をして、どうしようとあせる、こまった気持ち。

(3) 「まるであたたかい光のように」とは、りくのどんな言葉のことを表していますか。書きましょう。

(例) 「ぼくのを一しよに使うよ」という、りくのやさしい言葉。

(4) 何日かたったあと、たけしがしたこととして、正しいものを一つえらびましょう。

ア わすれ物をした子を、見て見ぬふりをした

イ わすれ物をした子に、自分から声をかけて助けた

ウ りくに、絵の具を返してもらった

エ 先生に、りくのことを話した

(5) この物語を読んで、あなたが考えたことを書きましょう。

(例) 人にやさしくしてもらうと、こんどは自分もだれかにやさしくしたくなと思った。助け合うあたたかさは、じゅんばんにつながつていくと感じた。

例えば

「やさしくしてもらうと、こんどは自分もだれかにやさしくしたくなと思った。」

「こまった時に助け合うことの、あたたかが分かった。」

解答・解説 わすれ物と友だち（4年・物語文）

問1 絵の具

一つ目の段落に「絵の具をわすれてきたのだ」とあります。

問2 （例）わすれ物をして、どうしようとあせる、こまった気持ち。

「血の気が引いた」は、こまったり、あわてたりして、顔が青くなる様子です。「こまった」「あせった」などが書けていれば正かいです。

問3 （例）「ぼくのを一しよに使おうよ」という、りくのやさしい言葉。

直前のりくの言葉が、たけしの心を明るくしています。りくのやさしさを表した言葉であればよいです。

問4 イ

四つ目の段落で、たけしは、こまっている子に自分から声をかけています。りくにしてもらったやさしさを、次の友だちにわたしています。

問5 （例）人にやさしくしてもらうと、こんどは自分もだれかにやさしくしたくなると思った。助け合うあたたかさは、じゅんばんにつながっていくと感じた。

やさしさがつながっていくことに気づき、自分の考えと結びつけて書けていれば正かいです。